

令和7年度盛岡市下水道事業会計予算（案）の概要

令和7年度 盛岡市下水道事業会計予算（案）の概要

I はじめに

本市の下水道事業は、市街地の中心部を対象として昭和28年に事業着手し、その結果、令和5年度末で行政区域内人口に対する普及率は90.1%となっています。今後は人口減少等に伴い使用料収入の大幅な増加は見込めない中で、老朽化した施設への対応や大雨・地震等の自然災害への対策が課題となっています。

これらの課題に応えるため、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を目指し、令和7年4月から公共下水道使用料を改定するとともに、7年度を初年度とする「盛岡市下水道ビジョン2045」の策定を進め、引き続き持続可能な事業経営に取り組んでまいります。

令和7年度は、6年4月に公営企業会計へ移行した農業集落排水事業及び公設浄化槽事業について適切な維持管理を継続するとともに、公共下水道事業においては、管渠整備等の実施及び不明水対策やストックマネジメント計画に基づいた改築更新を進めるほか、耐震化事業や事業計画区域における未実施区域の浸水解析を実施し、災害に強い下水道施設の整備を進めます。また、盛岡市汚水処理人口普及率100%達成プランに基づく浄化槽設置補助等による汚水処理未整備区域の早期水洗化を図ります。

これからも、災害に強く、安全・安心な下水道システムを築き、快適な市民生活や社会生活をいつまでも支え続ける下水道を目指し、令和7年度を初年度とする次期「盛岡市総合計画」及び「盛岡市下水道ビジョン2045」に基づき、盛岡市国土強靱化地域計画も踏まえ、将来を見据えた持続可能な事業運営を推進します。

II 主要事業について

施策1 安心・安全な下水道機能の構築

1 汚水施設整備事業

未整備地区の幹線整備と面整備を行うとともに、街路・道路事業に併せて管渠整備工事を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 交付金事業	6 地区 2,630m（渋民、上米内、西見前、手代森、黒川、羽場）	691,700
(2) 起債単独事業	13 地区 3,530m（渋民、芋田、東中野、津志田、飯岡新田、西見前、手代森、黒川、上厨川、下鹿妻、羽場、みたけ、大新町）	838,300
(3) 純単独事業	上赤平汚水中継ポンプ場燃料貯蔵槽増設工事 他	21,902

2 雨水管渠整備事業

浸水防除のため、幹線整備を行うとともに、道路事業に併せて面整備を実施するほか、災害リスク情報の空白地帯における浸水解析を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 交付金事業	5 地区 353m (浅岸、黒石野、三本柳、永井、東見前) 盛岡市内水浸水解析モデル構築業務委託	449,000
(2) 起債単独事業	10 地区 601m (みたけ、厨川、黒石野、東緑が丘、上田、大新町、向中野字鶴子、向中野字東道明、永井、東見前)	107,400
(3) 純単独事業	南川第三排水区幹線実施設計 (基本設計) 業務委託 盛岡市公共下水道事業計画変更業務委託 盛岡市公共下水道耐水化計画修正業務委託 山岸第三排水区防護柵設置工事	50,758

3 下水道施設の耐震化・改築更新

盛岡市下水道総合地震対策計画に基づき、施設の耐震対策を実施します。また、長寿命化対策については、下水道施設を計画的かつ効率的に管理するため、ストックマネジメント計画に基づく改築・更新を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 地震対策事業	蛇島汚水中継ポンプ場土木部耐震設計業務委託 蛇島汚水中継ポンプ場建築部耐震補強工事	17,200
(2) 長寿命化対策事業	【管更生工事】中川原処理分区、松園分区 【不明水対策】松園分区人孔口環改修工事等 【業務委託】マンホール調査、管更生工事詳細設計、ポンプ場改築基本設計及び中央監視装置更新実施設計業務委託等 【施設工事】汚水・雨水ポンプ場ポンプ更新、中川原中央監視制御等自家発電設備更新工事に係る協定	1,036,188

4 安定した汚水処理の確保及び水洗化普及促進

安定した汚水の処理の確保及び浸水被害の防止を図るため、既存施設の改修・修繕を実施するほか、岩手県が施行している北上川上流流域下水道都南処理区の維持管理負担金を支出します。

また、公共下水道への切替えや水洗化普及の促進を図るため、各種補助制度や資金融資制度の利用を啓発します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 安定した汚水処理	北上川上流流域下水道維持管理負担金	2,476,044
	北上川上流流域下水道建設負担金	101,016
(2) 施設の適正な維持管理	【不明水対策】汚水管及び雨水管修繕(桜台分区外)	172,328
	南地区外下水道管路施設清掃業務委託等	114,790
	ポンプ場ポンプ修繕等	106,322
(3) 融資・補助制度	私設下水道設置事業補助、私設下水道補修事業補助、排水設備普及資金利子補給、水洗便所設置事業補助、水洗便所改造資金貸付	8,289
(4) 農業集落排水事業	維持管理業務	132,971
(5) 公設浄化槽事業	維持管理業務	9,622

施策2 お客さまサービスの向上

お客さまのニーズに応えるため、民間企業が持つノウハウやネットワークを活用し、窓口業務の充実とともに、毎月徴収制度やWebでの口座振替受付などの周知を図り、お客さまサービスの向上に努めます。

また、「盛岡市上下水道局広報戦略方針」及び「盛岡市上下水道局短期広報戦略」に基づき、市広報紙、上下水道局広報紙「みずの輪」、上下水道局公式ホームページ及び動画掲載等による情報発信を行うほか、マンホールカードの配布を継続しながら、親しみやすく伝わる広報の推進に努めます。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) お客さまの利便性・満足度向上	検針・料金徴収業務委託（下水道使用料事務負担金） 【DX】盛岡市公共下水道事業施設計画図電子化業務委託	257,127
(2) 広聴・広報の充実	ホームページ運用保守管理及び広報紙制作等業務委託（水道事業会計への負担金）	2,131
	市広報紙掲載、マンホールカードの配布	512

施策3 健全経営の推進

債権管理を徹底し、収入の確保に努めるとともに、施設の更新需要の増加に備え、建設投資の内容の精査・検討を行い、一層の経営効率化を推進するほか、将来の下水道事業を担う人材の育成に努めます。

また、休止・廃止施設の計画的な整理活用を行ってまいります。

単位：千円

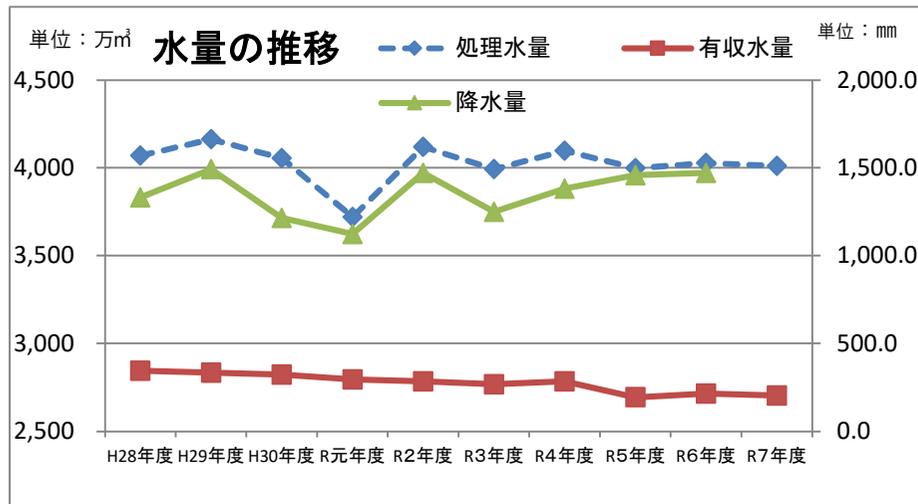
事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 経費の削減・効率化の推進	下水道台帳システム経費	41,970
(2) 収入の確保	滞納整理専門員の配置	3,759
(3) 人材育成・技術継承の推進	企業職員研修費	5,557
(4) 使用料の妥当性の検討	経営改善支援・普及事業委託料	2,000
(5) 休止・廃止施設整理活用	解体に係る実施設計業務委託（旧中川原終末処理場分流・合流ポンプ棟、桜台汚水処理施設、手代森汚水処理施設）、解体撤去工事（旧中川原終末処理場高速散水ろ床、旧松園取水場）	163,482

Ⅲ 業務量について

本年度の公共下水道事業における業務量は、前年度に比較し、処理戸数で0.6%の減、年間処理水量で0.4%の減とした。

【公共下水道事業】

年 度	令和7年度 (A)	令和6年度 当初(B)	比較増減 (A)-(B)	増減率	令和6年度 見込(C)	比較増減 (A)-(C)	増減率
処理戸数(戸)	126,367	127,131	△764	△0.6%	126,053	314	0.2%
処理人口(人)	247,012	251,710	△4,698	△1.9%	249,054	△2,042	△0.8%
年間処理水量(千m ³)	40,107	40,269	△162	△0.4%	40,362	△255	△0.6%
有収水量(千m ³)	27,031	27,140	△109	△0.4%	27,187	△156	△0.6%



農業集落排水事業における業務量は、前年度に比較し、処理戸数で0.1%の増とした。

【農業集落排水事業】

年 度	令和7年度 (A)	令和6年度 当初(B)	比較増減 (A)-(B)	増減率	令和6年度 見込(C)	比較増減 (A)-(C)	増減率
処理戸数(戸)	2,142	2,140	2	0.1%	2,142	0	0.0%
処理人口(人)	6,888	7,081	△193	△2.7%	7,030	△142	△2.0%
年間処理水量(千m ³)	882	887	△5	△0.6%	882	0	0.0%

公設浄化槽事業における業務量は、前年度に比較し、浄化槽基数で0.8%の増とした。

【公設浄化槽事業】

年 度	令和7年度 (A)	令和6年度 当初(B)	比較増減 (A)-(B)	増減率	令和6年度 見込(C)	比較増減 (A)-(C)	増減率
浄化槽基数(基)	125	124	1	0.8%	125	0	0.0%
処理人口(人)	564	568	△4	△0.7%	564	0	0.0%

IV 予算規模について

2,780,915千円は、損益勘定留保資金等で補填するものとする。

1 収益的収入及び支出

収益的収入は、10,163,689千円を予定し、前年度予算額 8,908,363千円に比較し、1,255,326千円(14.1%)の増とした。増の主なものは、他会計負担金 126,432千円、長期前受金戻入 1,552千円である。また、下水道使用料は、5,730,932千円を見込み、前年度予算額 4,606,932千円に比較し、1,124,000千円(24.4%)の増とした。

支出については、9,488,564千円を予定し、前年度予算額 8,655,591千円に比較し、832,973千円(9.6%)の増とした。増の主なものは、管渠費 110,201千円、ポンプ場費 117,062千円、処理場費 159,712千円、流域下水道管理費 387,538千円、減の主なものは、総係費 15,346千円、支払利息及び企業債取扱諸費 25,908千円である。

これにより、本年度予算における純利益は 480,642千円となり、前年度予算の純利益 59,080千円に比較し、421,562千円(713.5%)の増となった。

2 資本的収入及び支出

資本的収入は、3,394,262千円を予定し、前年度予算額 3,427,539千円に比較し、33,277千円(1.0%)の減とした。企業債は 2,231,200千円、国庫補助金である下水道事業費交付金は 888,450千円を見込んだ。

支出については、6,175,177千円を予定し、前年度予算額 6,489,861千円に比較し、314,684千円(4.8%)の減とした。減の主なものは、企業債償還金 205,843千円である。なお、収入額が支出額に不足する額

V 事業の概要について

(税込み額)

○ 収益的支出における主な事業	3,796,989 千円	3. 地震対策事業	17,200 千円
1. 管渠施設維持管理事業	586,788 千円	(1) 交付金事業	(17,200 千円)
2. ポンプ場施設維持管理事業	329,946 千円		
3. 処理場施設維持管理事業	347,559 千円	4. 長寿命化対策事業	1,050,596 千円
4. 水洗化・排水設備普及事務	49,788 千円	(1) 交付金事業	L= 412m (569,000 千円)
5. 私設下水道設置費補助事業	6,864 千円	(2) 起債単独事業	L= 604m (408,888 千円)
6. 流域下水道維持管理費	2,476,044 千円	(3) 純単独事業	(58,300 千円)

○ 農業集落排水事業費	148,851 千円	(4) 建設事務費	(14,408 千円)
○ 公設浄化槽事業費	9,636 千円	5. 流域下水道事業	101,016 千円
		(1) 流域下水道建設費負担金	(101,016 千円)
○ 資本的支出における主な事業		6. その他施設整備事業	17,126 千円
1. 汚水管渠整備事業	1,759,630 千円	(1) 車両運搬具取得事業	(15,003 千円)
(1) 交付金事業	L= 2,630m (691,700 千円)	(2) 工具器具備品取得事業	(2,123 千円)
(2) 起債単独事業	L= 3,530m (838,300 千円)		
(3) 純単独事業	L= 236m (21,902 千円)		
(4) 建設事務費	(207,728 千円)		
2. 雨水管渠整備事業	677,058 千円		
(1) 交付金事業	L= 353m (499,000 千円)		
(2) 起債単独事業	L= 601m (107,400 千円)		
(3) 純単独事業	(50,758 千円)		
(4) 建設事務費	(19,900 千円)		

(別紙1) 下水道事業会計予算の概要

〈消費税込〉
(単位:千円、%)

区 分			令和7年度	令和6年度予算との比較			令和6年度決算見込との比較			
			予算額 (A)	予算額 (B)	比較増減 (A-B)		決算見込額 (C)	比較増減 (A-C)		
収 益 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1. 下水道使用料	5,730,932	4,606,932	1,124,000	24.4	4,615,351	1,115,581	24.2	
		2. 他会計負担金	3,339,249	3,212,817	126,432	3.9	2,795,409	543,840	19.5	
		3. 長期前受金戻入	1,076,699	1,075,147	1,552	0.1	1,072,008	4,691	0.4	
		4. その他	16,809	13,467	3,342	24.8	380,187	△363,378	△95.6	
		合計	10,163,689	8,908,363	1,255,326	14.1	8,862,955	1,300,734	14.7	
	支 出	支 出	1. 営業費用	8,995,104	8,167,464	827,640	10.1	8,021,885	973,219	12.1
			(管渠費)	(608,010)	(497,809)	110,201	22.1	(421,202)	186,808	44.4
			(ポンプ場費)	(329,946)	(212,884)	117,062	55.0	(175,041)	154,905	88.5
			(処理場費)	(475,177)	(315,465)	159,712	50.6	(279,358)	195,819	70.1
			(普及費)	(56,663)	(54,993)	1,670	3.0	(55,271)	1,392	2.5
			(浄化槽費)	(9,636)	(9,716)	△80	△0.8	(9,716)	△80	△0.8
			(受託事業費)	(8,319)	(9,056)	△737	△8.1	(7,817)	502	6.4
			(業務費)	(257,360)	(204,033)	53,327	26.1	(204,729)	52,631	25.7
			(総係費)	(283,028)	(298,374)	△15,346	△5.1	(313,284)	△30,256	△9.7
			(流域下水道管理費)	(2,476,044)	(2,088,506)	387,538	18.6	(2,088,506)	387,538	18.6
			(減価償却費)	(4,483,921)	(4,469,628)	14,293	0.3	(4,462,750)	21,171	0.5
			(資産減耗費)	(7,000)	(7,000)	0	0.0	(4,211)	2,789	66.2
			2. 営業外費用	481,029	464,990	16,039	3.4	466,445	14,584	3.1
			3. 特別損失	2,431	13,137	△10,706	△81.5	16,279	△13,848	△85.1
			4. 予備費	10,000	10,000	0	0.0	10,000	0	0.0
合計	9,488,564	8,655,591	832,973	9.6	8,514,609	973,955	11.4			
収支差引額			675,125	252,772	422,353	167.1	348,346	326,779	93.8	
税抜き純利益			(480,642)	(59,080)	(421,562)	(713.5)	(159,057)	(321,585)	(202.2)	
たな卸資産購入費			11,000	22,000	△11,000	△50.0	6,270	4,730	75.4	
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1. 企業債	2,231,200	2,086,600	144,600	6.9	1,466,400	764,800	52.2	
		2. 負担金及び分担金	274,608	392,537	△117,929	△30.0	378,997	△104,389	△27.5	
		3. 補助金	888,450	948,400	△59,950	△6.3	652,372	236,078	36.2	
		4. 固定資産売却代金	3	2	1	50.0	593	△590	△99.5	
		5. その他資本的収入	1	0	1	皆増	30,000	△29,999	△99.9	
	合計	3,394,262	3,427,539	△33,277	△1.0	2,528,362	865,900	34.2		
	支 出	支 出	1. 建設改良費	3,622,626	3,729,267	△106,641	△2.9	2,627,549	995,077	37.9
			2. 企業債償還金	2,548,701	2,754,544	△205,843	△7.5	2,754,544	△205,843	△7.5
			3. その他資本的支出	3,850	6,050	△2,200	△36.4	349	3,501	1,003.2
			合計	6,175,177	6,489,861	△314,684	△4.8	5,382,442	792,735	14.7
資本的収支不足額 ※1			2,780,915	3,062,322	△281,407	△9.2	2,854,080	△73,165	△2.6	

※1 資本的収支不足額2,780,915千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填する。

(別紙2) セグメントごとの概要

〈消費税込〉
(単位:千円)

区 分		公共下水道事業	農業集落排水事業	公設浄化槽事業	合 計	
収益的 収入 及び 支出	収 入	1. 下水道使用料	5,650,652	73,572	6,708	5,730,932
		2. 他会計負担金	3,051,224	280,855	7,170	3,339,249
		3. 長期前受金戻入	970,588	104,119	1,992	1,076,699
		4. その他	16,776	31	2	16,809
		合 計	9,689,240	458,577	15,872	10,163,689
	支 出	1. 営業費用	8,540,424	439,891	14,789	8,995,104
		2. 営業外費用	453,372	26,791	866	481,029
		3. 特別損失	2,431	0	0	2,431
		4. 予備費	10,000	0	0	10,000
		合 計	9,006,227	466,682	15,655	9,488,564
収支差引額		683,013	△8,105	217	675,125	
税抜き純利益 (△は純損失)		(488,530)	(△8,105)	(217)	(480,642)	
たな卸資産購入費		11,000	0	0	11,000	
資本的 収入 及び 支出	収 入	1. 企業債	2,231,200	0	0	2,231,200
		2. 負担金及び分担金	212,329	62,279	0	274,608
		3. 補助金	888,450	0	0	888,450
		4. 固定資産売却代金	3	0	0	3
		5. その他資本的収入	1	0	0	1
	合 計	3,331,983	62,279	0	3,394,262	
	支 出	1. 建設改良費	3,622,626	0	0	3,622,626
		2. 企業債償還金	2,306,210	239,422	3,069	2,548,701
		3. その他資本的支出	3,850	0	0	3,850
		合 計	5,932,686	239,422	3,069	6,175,177
資本的収支不足額		2,600,703	177,143	3,069	2,780,915	